

夕映えの彼方

ふと遠くの山見渡す
夕日に染まる頃
ひとときの風が
頬を撫でてゆく

振り返る今年の冬と春は
たくさん泊まりで出かけた

夜の帳の向こうに
新たな光が
そこには もうすぐ待っている
今年の閉じる幕

振り返る今年の夏と秋は
たくさん思い出が作れた